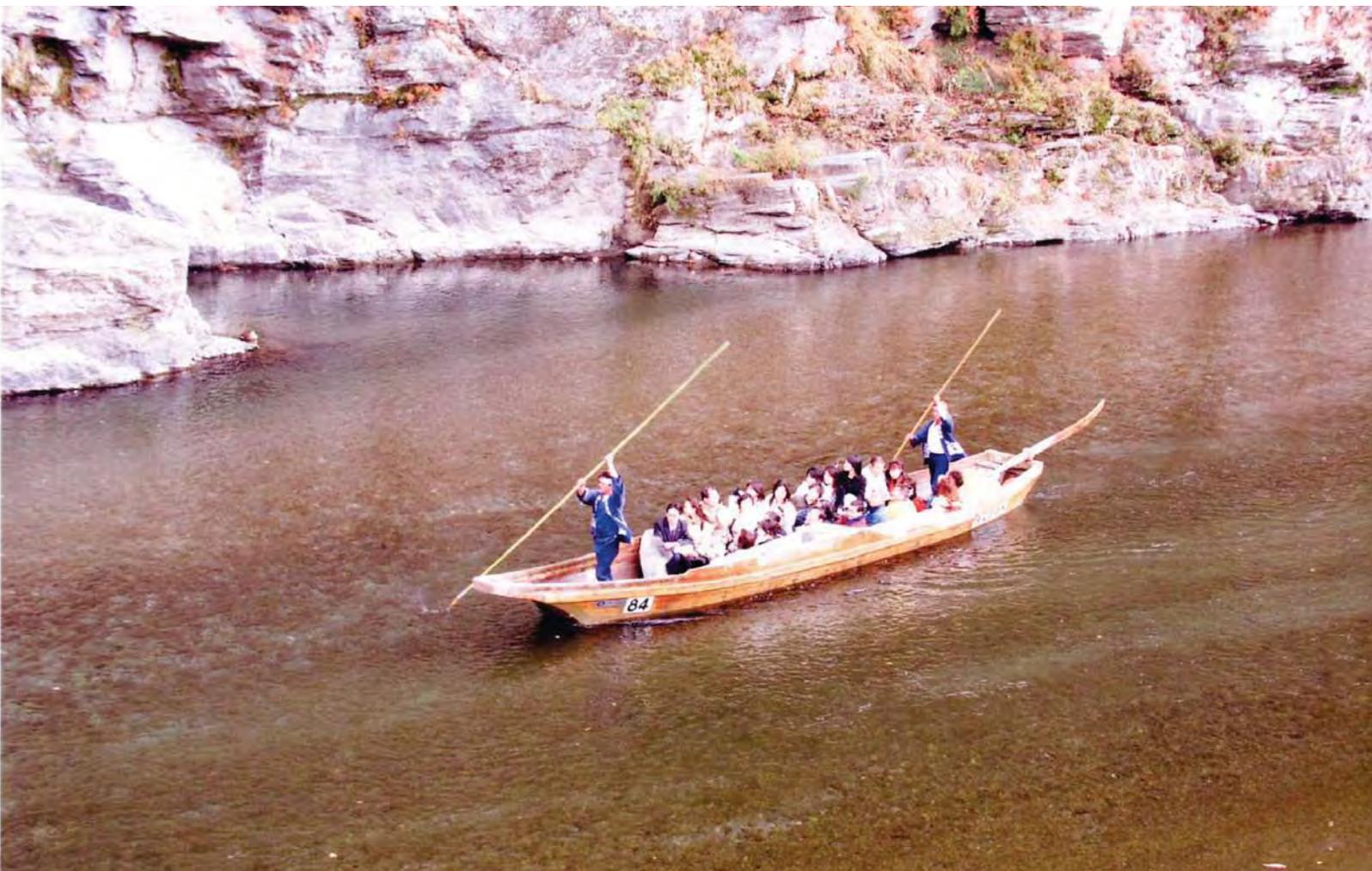




日本公認会計士協会

埼玉県会 CPAニュース

第4号 2007. 1. 1



CONTENTS

会長あいさつ	2
県知事メッセージ	3
東京会会長挨拶	4
任期を振り返って	5
事業報告	6~7
事務局だより	8~9
会員コーナー	10~11
県会業務推薦コーナー	12
名簿	13~15
編集後記	16



新年のごあいさつ

日本公認会計士協会
埼玉県会 会長
宮原 敏夫

新年明けましておめでとうございます。平成19年度の新春を迎え、埼玉県会の会員の皆様に謹んでお慶びを申し上げます。

早いもので、平成18年7月に県会長に就任して半年が経過しました。会員の皆様を初め各副会長、幹事の方々には、日頃より、会務運営についてご協力いただきまして誠に有難うございます。

さて、私ども公認会計士の業界ですが、平成15年の公認会計士法改正を契機に、協会本部の「自主規制のさらなる強化」という方針にもとづき、「上場会社監査事務所部会の創設と登録制の導入」、「包括的な倫理規定の整備」「自主規制による処分のあり方の見直し」「協会の組織ガバナンス改革の実行」等、公認会計士監査の信頼回復に向けての諸施策が強力に進められております。

上記のような状況のなかで、地域会としての東京会も「東京会組織ガバナンス改革プロジェクト」を設置し、地区会も含めて地域会としての東京会のあり方を検討しているところでございます。地区会としての埼玉県会としては、「東京会組織ガバナンス改革プロジェクト」の方針にもとづいて活動していくこととなりますが、未だにその具体的方向性が見えておりません。

当面、埼玉県会としては、平成18年7月の県会総会で承認されました平成18年度事業計画にもとづいて会務の執行を行っておりますが、主な事業活動としては従来同様に、研修と親睦が中心となっております。熊木前会長のご苦勞により、県会事務所も大宮ソニックシティビルに移転し、CS放送設備も設置されたことにより、充実した研修会が行われていることと考えております。また、親睦につきましては、現在、ゴルフ会を年に数回実施しておりますが、県会事務所の有効活用も考えて何かほかに出来ることはないかと検討中でございます。

平成19年2月には、協会本部の役員選挙が予定されており、協会本部の役員選挙制度改正後の初めての選挙となります。埼玉県会は、神奈川県会、千葉県会と同一選挙区域となり、東京2区に所属します。役員選挙定数は3名となっておりますが、選挙の節は是非、積極的な参加をお願いします。

結びに、私どもの業界を取りまく環境が目まぐるしく変化している状況ですが、埼玉県会会員の皆様にとって、今年が良い年になりますよう心からご祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。



「ゆとりとチャンスの埼玉」 実現に向けて

～700万県民パワーの結集を～

埼玉県知事
上田 清司

日本公認会計士協会埼玉県会の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに平成19年の新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

目まぐるしく変化する社会経済情勢の中、公認会計士の皆様の役割は一層重要になっていると認識しております。専門知識を駆使し、社会の要請に応えるべく日々御尽力されていることに深く敬意を表する次第です。

さて、今年も、皆様の目に見える成果を追い求め、県政に猪突猛進してまいります。

まず、治安についてですが、県では警察官の増員を行う一方、地域の力による防犯対策を強力に進めてまいりました。事業者の皆様には不審者の通報などで御協力をいただき、地域の自主防犯活動グループの数も東京都を抜いて全国トップとなりました。

刑法犯の認知件数は一昨年以降減少に転じ、検挙率も回復しています。今年も皆様と力を合わせて防犯対策に全力で取り組んでまいります。

また、私は昨年、県内経済団体トップの方々と「埼玉県子育て応援共同宣言」を行いました。社会全体で子育てを応援する「子育てムーブメント」を起こしたいと思います。

障害者をはじめとする福祉事業も大幅に予算を伸ばしています。去年は、障害者自立支

援法に基づく新たなサービス体系に移行した障害者施設に対し、県独自の助成制度を設けました。今後も一層の充実を図ってまいります。

平成17年1月から開始した企業誘致大作戦は、立地件数が目標の150件を超えました。今年もさらなる産業集積を進めてまいります。

さて、県では、平成19年度からの新たな5か年計画「ゆとりとチャンスの埼玉プラン」を取りまとめました。計画では埼玉が目指す将来像を「ゆとりとチャンスの埼玉」として掲げています。

この計画のポイントは、県民の潜在的なパワーを引き出し結集させるとともに、県民のチャレンジをサポートしてあらゆる人にチャンスをつくり出すことです。今年の3月から、高校生向けの奨学金を日本一の水準に拡大することとしました。こうした取組により「いつでも、どこでも、誰でも、何度でも」挑戦のできる社会を目指してまいります。

私は、700万県民の皆様のパワーを結集して「ゆとりとチャンスの埼玉」の実現を目指す決意です。どうか皆様のお力添えをお願い申し上げます。

結びに、この1年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



年頭のご挨拶

日本公認会計士協会
東京会 会長

酒井 繁

新年明けましておめでとうございます。

平成19年の新春を迎え、埼玉県会の会員の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より日本公認会計士協会東京会の会務運営に深いご理解とご協力を賜わり心から感謝申し上げます。

今年は、最後のラストスパートをかけるべく猪突猛進とまでは申しませんが、東京会の調和ある発展と業界の拡充強化を目指し、積極的かつ迅速に行動して、会務運営に努めてまいりたいと思います。

さて、東京会では、協会本部の「協会組織ガバナンス改革」を受け、昨年7月に東京会組織ガバナンス改革検討プロジェクトチームを立ち上げました。

東京会組織ガバナンス改革プロジェクトチームでは全体会議の他に、(1) 機関構成検討部会、(2) 役員選挙検討部会、(3) 地区会制度検討部会の3つの部会に分かれ、検討を加えております。今後も、地区会の意見及び要望が反映できるような東京会組織構築のために、審議を重ねてまいりたいと思います。

会長職をお引き受けして以来、この3年間、「Ⅰ. 協会本部との連携強化推進」、「Ⅱ. 東京会執行部機構等の拡充強化推進」、「Ⅲ. 地区会活性化推進の強化」、「Ⅳ. 東京会事務局体制の強化」の4本柱の基本構想を継承し、重点施策を策定してまいりました。

「Ⅰ. 協会本部との連携強化推進」につきましては、従来から設置している正副会長会議や常任幹事会及び役員会のみならず、新たに会長直轄プロジェクトチームを多々設置して、東京会として意見具申あるいは答申書等を公表する等、協会本部と連携を強化すべく鋭意努力してまいりました。そのような中で、今年にはさらに、「ハロー！会計in東京会」を

実施する等、今後も新たな事業を展開し、東京会として本部施策の支援に努めてまいりたいと思います。

「Ⅱ. 東京会執行部機構等の拡充強化推進」につきましては、正副会長会議の他に正副会長政策会議及び会長施策推進会議において、機動的に対応して参りましたが、今後はさらに、東京会組織ガバナンス改革プロジェクトチームの活動や、国際交流検討プロジェクトチームの答申を受けての試行事項の実施等、継続性を視野に入れながら各事業をさらに展開させていきたいと思っております。

「Ⅲ. 地区会活性化推進の強化」については、会員の東京会に対する会務への強い参加意識、地区会への帰属意識及び東京会と地区会との密接な連携を実現するために、推薦制度又は研修制度等諸々の施策の強化を実行し、“地区会＝地域行政機関等との最先端の砦”というイメージを確立していきたいと思っております。

「Ⅳ. 事務局体制の強化」につきましては、東京会の事務局強化のために、今後も目的別に設置している事務局プロジェクトチームの活動を継続させ、三層会議（管理職会議・主任係長会議・職員会議）を以って東京会事務局の改革に努めてまいりたいと思っております。

近年、公認会計士業務の多様化に伴い、監査業務、税務業務、経營業務への従事のみならず、大学・大学院教授や官公署等の勤務、企業内会計士等、会員の層も細分化してまいりました。このような状況を鑑みて、会員へのサービスを提供する東京会といたしましても、状況の変化に対応すべき組織へ再構築することが必要であると感じております。

今年の干支は丁亥（ひのとい）です。「丁」（ひのと）は、灼熱の太陽ではなく、ほのかな火を象徴しているようです。この言葉を私流に解釈した結果、東京会の諸々の改革というほのかな火を消さぬよう、神経質になりすぎず戦略を練り、皆様にもお力添えを頂きながら、任期満期まで変革に手を抜かず、今年も邁進してまいりたいと思っております。

最後になりましたが、埼玉県会及び会員の皆様におかれましては、今後も、東京会の発展と地区会活性化推進に力強いご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の弥栄をご祈念申し上げて、年頭のご挨拶と致します。



任期を振り返って

日本公認会計士協会
前会長

熊木雄太郎

まずは、懸案でした県会事務所の移転も成り、平成18年7月の定期総会に於いて、新執行部にバトンタッチが無事に行われまして安堵しております。

平成15年7月の定期総会においてご選任ただいて以来3年間県会の運営に遺漏なきように組織体制を見直し、万全を期してまいりました。

先ず、県会の活性化を図るべく、役員のうち特に副会長の協力を仰ぐべく、総務、業務、研修、広報、親睦の各担当制の副会長制度を採用いたしました結果、それぞれ担当別に活発な運営がなされました。

業務では、地方自治体の外部監査人の推薦、指定管理者の選定委員の選任及び裁判所の株式評価員の推薦等々、多数の先生方のご協力を頂きました。

研修では、CPE制度もあり、一層の充実を図るべく年間を通して研修の機会が持てるよう、毎月第2金曜日の夜、県会事務所にて勉強会を実施してまいりました。

広報では、2004年1月1日の創刊号より年1回ですが県会ニュースを発刊し、埼玉県会の存在感を高めると共に、活動の情報源として会員に役立てればと実施いたしました。

親睦では、先ず会員同士が親しくコミュニ

ケーションが図れる機会として、ゴルフ会の実施を大幅に増やしました。お蔭様で推薦依頼のときなど快く引き受けていただく会員もできまして親睦の効果も上がりました。

中央から地方へ、官から民への時代の流れの中にあって、県会事務所の一層の充実を感じた折、交通至便の大宮ソニックシティビル8階に移転でき、35坪の事務所に40席の研修会場を併設できましたことは、会員各位のCPE単位取得への大いなる助力となり、喜ばしい限りです。

思えば、バブル崩壊後の日本経済は本格的な回復基調に向かいつつありますが、ここ何年間は、公認会計士監査に対する見る目が一段と厳しく、このことは、公認会計士に対する期待感の裏返しと受け止め真摯に反省すべきことと思います。

CPE制度の義務化、または公認会計士法の改正、更には倫理規定及び品質管理レビュー制度の充実等々の公認会計士の行動規範も厳しく社会の信頼回復に答える必要があり、この時期にあたり県会事務所の一層の充実はなにより代えがたいことと思います。

就任後3年間無事に会務運営ができるかどうか不安でしたが、何とか会員の先生方のご協力により、当初の目的を達せられ次期執行部に引継ぎ重責の任から開放されました。

今後とも、埼玉県会の益々の発展と会員先生方のご健勝をご祈念申し上げると共に任期中の弛まぬご協力を心から感謝申し上げ御礼の言葉と致します。

本当に有難うございました。

平成17年度 事業報告

(H17. 4. 1 ~ H18. 3. 31)

1. 会員及び準会員数 (平成18年 3月31日現在)

会 員	3 8 2名 (内監査法人1社)
準 会 員	6 6名
合 計	4 4 8名
在 住 会 員	2 6名
物 故 会 員	八木 壽三郎 殿 (平成17年 6月19日)

2. 事業報告 (及び活動報告)

- 4月8日(金) 勉強会 (公認会計士が業務上留意すべき情報セキュリティ)
- 4月25日(月) 埼玉県中小企業再生支援協議会第1回全体会議
- 5月31日(火) 正副会長会
- 6月4日(土) 常任幹事会
- 6月8日(水) 東京会定期総会
- 6月10日(金) 監事監査、勉強会 (企業結合会計のポイントについて)
- 6月15日(水) 国立大学財産評価委員会
- 6月27日(月) 正副会長会
- 7月9日(土) 役員会、定期総会、研修会 (会社法制の現代化について)、懇親会
- 7月14日(木) 埼玉友好士業協議会幹事会、懇親会
- 7月29日(金) 東京会地区会長会議
- 7月30日(土) 埼玉県会親睦ゴルフ会
- 8月24日(水) 緊急常任幹事会
- 8月28日(日) 埼玉県会親睦ゴルフ会
- 9月5日(月) プレ地方協議会 (司法支援センター)
- 9月9日(金) 勉強会 (株式会社の計算、組織再編)
- 9月12日(月) 埼玉友好士業協議会幹事会、正副会長会
- 9月15日(木) 東京会 (臨時) 役員会
- 9月22日(水) 正副会長会
- 10月1日(土) 巡回研修会川越大会 (中小企業の会計に関する指針について)、懇親会
- 10月6日(木) 正副会長会、広報編集会議
- 10月12日(水) 東京会9県会会長会議
- 10月13日(木) 東京会公認会計士フォーラム栃木大会
- 10月21日(金) さいたま市包括外部監査人の公募について、さいたま市担当者との面談
- 11月10日(木) 埼玉友好士業協議会親睦ゴルフ大会
- 11月10日(木) 埼玉県中小企業再生支援協議会第2回全体会議
- 11月11日(金) 川越市包括外部監査人の公募について、川越市担当者との面談、推薦委員会
- 11月13日(日) 埼玉友好士業協議会親睦ハイキング
- 11月26日(土) 3県 (新潟・群馬・埼玉) 合同研修会、懇親会
- 11月30日(水) 境界問題相談センター埼玉設立記念式典
- 12月1日(木) 正副会長会・広報編集会議
- 12月10日(土) 埼玉友好士業協議会「暮らしと事業のよろず相談会」相談員
- 12月14日(水) 協会本部会議

- 12月17日(土) 正副会長・常任幹事会・研修会 (企業再編の会計処理)・忘年会
- 12月20日(火) 「埼玉中小企業再生ファンド」及び運営会社設立に伴う披露パーティ
- 12月25日(日) 埼玉県会親睦ゴルフ会
- 1月1日(日) 埼玉県会CPAニュース第3号発行
- 1月6日(金) さいたま地裁へ「株式鑑定評価のための評価人」の推薦・埼玉新聞社主催「賀詞交換会」
- 1月10日(火) 川越市と包括外部監査人の推薦について面談
- 1月13日(金) 川越市と包括外部監査人の推薦について面談、埼玉県産業文化センターとソニックシティ入居についての打合せ
- 1月16日(月) 東京会地区会長会
- 1月31日(火) 常任幹事会
- 2月3日(金) 常任幹事会・研修会 (幼稚園法人の検査と財務/協会の組織・ガバナンス改革について)・新事務所披露パーティ
- 2月17日(金) 三県会会長との意見交換会埼玉友好士業協議会定例会・懇親会
- 2月18日(土) 事務所引渡し、新事務所移転立会い
- 2月21日(火) 東京共済会推進会議・懇親会
- 2月27日(月) 埼玉県福祉部監査指導室と非常勤公認会計士の推薦について打合せ
- 2月28日(火) さいたま市産業創業財団と面談・第2回プレ地方協議会
- 3月3日(金) 常任幹事会・東京会弔慰金検討プロジェクトチーム会議
- 3月22日(水) 埼玉県創業・ベンチャー支援センター主催「士業協会等と知事との意見交換会」
- 3月27日(月) 東京会地区会長会・役員会議
- 3月28日(火) 東京会弔慰金検討プロジェクトチーム会議

平成17年

平成17年

平成18年



平成18年総会

平成18年度 中間事業報告

(H18. 4. 1 ~ H18.11.30)

1. 会員及び準会員数 (平成18年10月31日現在)

会 員	390名 (内監査法人1社)
準 会 員	58名
合 計	448名
在 住 会 員	27名
物 故 会 員	井上 宣明 殿 (平成18年4月6日) 木下 英樹 殿 (平成18年4月10日) 村田善次郎 殿 (平成18年7月28日)

2. 事業報告 (及び活動報告)

平成18年

- 4月6日(木) 親睦ゴルフ会
- 4月10日(月) 正副会長会
- 4月14日(金) 勉強会 (ITの内部統制の理解)
- 4月17日(月) 埼玉県環境部「埼玉県廃棄物処理専門委員会委員」の推薦
- 5月8日(月) 埼玉県住宅課と面談
- 5月11日(木) 埼玉県中小企業再生支援協議会第1回全体会議
- 6月8日(木) 協会本部木曜講座CS中継
- 6月9日(金) 勉強会 (ITコントロールの知識と評価)
- 6月10日(土) 正副会長会
- 6月12日(月) 監事監査
- 6月19日(月) 推薦委員会 (役員改選)
- 6月22日(木) トワイライトセミナー (職員対象)
- 6月29日(木) 協会本部木曜講座CS中継
- 7月4日(火) 常任幹事会・本部定期総会CS中継
- 7月8日(土) 役員会、定期総会、研修会 (新会社法と中小会社の実務対応)、懇親会
- 7月12日(水) 親睦ゴルフ会
- 7月28日(金) 常任幹事会・推薦委員会
- 8月1日(火) 協会本部夏季全国研修会CS中継
~3日(木)
- 8月23日(水) 東京会組織改革PT
- 8月27日(日) 親睦会・親睦ゴルフ会
~28日(月)

平成18年

- 9月4日(月) 埼玉友好士業協議会幹事会
- 9月6日(水) 日本司法支援センター説明会
- 9月8日(金) 勉強会 (会計参与の行動指針について)
- 9月21日(木) 正副会長会
- 9月25日(月) 広報編集会議
- 8月27日(水) 東京会組織改革PT
- 10月2日(月) 日本司法支援センター埼玉事務所開所式
- 10月11日(水) 東京会9県会会長会議・ブロック会議・懇親ゴルフ会
~13日(金)
- 10月13日(金) 勉強会 (適用開始となった新公益法人会計基準の概要と実務対応について)
- 10月18日(水) 協会本部秋季全国研修会CS中継
~20日(金)
- 10月19日(木) 正副会長会・広報編集会議
- 10月23日(月) 三県会会長会 (埼玉・神奈川・千葉)
- 10月26日(木) 埼玉友好士業協議会幹事会
- 10月31日(火) 協会本部随時研修会CS中継・東京会組織改革PT
- 11月9日(木) 埼玉友好士業協議会親睦ゴルフ大会
- 11月11日(土) 巡回研修会川越大会 (新会社法がスタートして/最近の監査事情)、懇親会
- 11月24日(金) 正副会長会・広報編集会議・推薦委員会
- 11月28日(火) 東京会役員会
- 11月29日(水) 東京会組織改革PT



7月8日研修会 早稲田大学名誉教授 酒巻先生



7月12日ゴルフ会

総務

荒井 伸夫



新年明けましておめでとうございます。埼玉県会の会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成18年度より熊本体制から宮原新体制に移り、総務担当の副会長を仰せつかりました。宮原新会長の基本方針のもとに諸施策を実行して参りたいと思いますので、会員皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

さて、私たち公認会計士業界を取り巻く社会的環境はここ数年大変厳しいものがあり、日本公認会計士協会も東京会も自主的なガバナンス改革を立ち上げました。協会本部-地域会-地区会と三位一体となって取組んでいかなければなりません。このような中で埼玉県会は、坂本年度の時に念願の県会事務所を持つことができ、また、熊本年度の時に現在のソニックシティに移転し、CS放送が可能な研修会場も持つことができました。県会を取り巻くインフラは年々向上しています。今後はこの立地の良さを生かし、対外的には県その他団体への積極的な広報活動や会員業務の拡大を図り、また、会員相互の情報交換や研修・親睦を更に充実させ、会員の皆様に十分活用して頂けるような県会事務所作りをしていきたいと思っています。

本年も会員の皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

事務局

池本 和子



皆様には幸多き新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。早いものでソニックシティに移りましてもうすぐ一年。本年も最高の立地で、本部主催全国研修会のCS中継を行ってまいります。また、県会事務所が情報交換・親睦の場としてご利用頂けるよう努力いたしますので、ご意見・ご要望等をお寄せ下さい。近くにお越しの際には、お気軽にお立ち寄り下さい。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

業務

西川 正純



新春のお喜びを申し上げます。

昨年の定期総会において業務担当の副会長に就任いたしました。

県会の業務といたしましては、下記の「推薦状況」に記載の推薦を行って参りました。今後も、県会会員に多くの業務の推薦が出来ますよう関係機関等と連絡を踏って行く予定です。更に多くの会員を推薦出来ますよう、推薦台帳の整備、更新を進めて行く予定です。尚、推薦を希望される方は、事務局に連絡をお願いいたします。

推薦状況

推薦月	団体名	内容	人数等
平成17年4月～18年3月			
継続	埼玉県宅地建物取引業協会	宅地建物取引主任者法定講習会の講師派遣	5名
	埼玉県中小企業再生支援協議会	埼玉県中小企業再生支援協議会協力メンバー	13名(登録)
	さいたま市産業創造財	さいたま市産業創造財団登録公認会計士	10名(登録)
7月	埼玉県福祉部他	埼玉県指定管理者選定委員会委員	9名
10月	埼玉県埋蔵文化財調査事業団	埼玉県埋蔵文化財調査事業団外部監査人	1名
	埼玉県都市整備部	埼玉県住宅供給公社監事	1名
11月	さいたま市食肉中央卸売市場	さいたま市食肉中央卸売市場公認会計士	1名
12月	埼玉県改革政策局	埼玉県包括外部監査人	1名(推薦2名)
1月	川越市行政管理課	川越市包括外部監査人	1名
	さいたま地裁川越支部債権執行係	株式売買価格鑑定人	1名
	さいたま地裁第3民事部(社福)埼玉県社会福祉事業団	株式売買価格鑑定人	1名
2月	(社福)埼玉県社会福祉事業団	外部監査人	1名
3月	埼玉県福祉部監査指導室	社会福祉施設等監査指導にかかる非常勤公認会計士	1名
平成18年4月～			
7月	(社福)埼玉県社会福祉事業団	監事	1名
9月	埼玉県環境部廃棄物指導課	埼玉県廃棄物処理専門委員会委員	1名



総会にて 紹介

研修

小山 彰



新春のお慶びを申し上げます。

昨年7月8日の定期総会に於いて、副会長を仰せつかりました小山彰です。宮原会長のもと研修を担当させていただくことになりました。会員の皆様、「県会だけでCPE40単位を取得」できますよう会務に取り組んでまいる所存ですので、皆様のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は熊木前会長他執行部のご尽力と会員の皆様のご協力を得て、県会事務所を研修会場付の、従来にも増して立地条件のよい大宮ソニックシティビルに移転させることができました。このような好条件を無駄にせぬよう、より一層の充実した研修を企画する所存です。

具体的には、従来から実施してまいりました年3回の定例研修、巡回研修及び協会研修のCD-ROMによる勉強会に加えまして、昨年夏より、CS放送を活用して本部主催集合研修会を埼玉会場としてご参加いただけるようになりました。

更には、昨年は会員だけでなく、会員事務所の職員の皆様を対象にした研修会も開催し好評を得ました。今年度もこのような新しい企画を考えてまいりますのでご期待いただければと思っています。会員の皆様の積極的な参加をお願いいたします。

平成18年・19年度研修会 実績及び今後の予定

月日	テーマ	場所	参加者	講師名	単位
4月14日	【月次勉強会】ITの内部統制の理解	埼玉県会事務所	13名	集合研修 CD-ROM	2
6月8日	【本曜講座】法務省令について	埼玉県会事務所	12名	CS中継	4
6月9日	【月次勉強会】ITコントロールの知識と評価	埼玉県会事務所	4名	集合研修 CD-ROM	2
6月29日	【本曜講座】法務省令について	埼玉県会事務所	18名	CS中継	4
7月4日	【本部総会】		17名	CS中継	4
7月8日	【総会】 【研修会】新会社法と中小会社の実務対応	大宮サンパレス	69名 70名	— 酒巻俊雄	2 2
8月 1～3日	【夏季全国研修会】	埼玉県会事務所	延べ 235名	CS中継	18
9月8日	【月次勉強会】会計参与の行動指針について	埼玉県会事務所	8名	集合研修 eラーニング	2
10月13日	【月次勉強会】適用開始となった新公益法人 会計基準の概要と実務対応について	埼玉県会事務所	8名	集合研修 CD-ROM	2
10月 18～20日	【秋季全国研修会】	埼玉県会事務所	延べ 85名	CS中継	18
10月31日	【随時研修会】	埼玉県会事務所	延べ 41名	CS中継	6
11月11日	【巡回研修会】新会社法がスタートして／最近 の監査事情	川越福祉センター	23名	荻野博司 田中伴一	4
12月11日	【本部臨時総会】	埼玉県会事務所		CS中継	4
12月 13～15日	【冬季全国研修会】	埼玉県会事務所		CS中継	18
12月16日	【研修会】公益法人特別委員会報告／公認会 計士法の改革・ガバナンス問題について	大宮ソニックシティ		亀岡保夫 増田宏一	4
1月24日	【新春全国研修会】	埼玉県会事務所		CS中継	2
2月6日	【研修会】未定 （学校法人会計）	大宮ソニックシティ		未定	4
3月 22～23日	【春季全国研修会】	埼玉県会事務所		CS中継	12
平成18年度合計					114

平成19年度 予定

月日	テーマ	場所	参加者	講師名	単位
4月13日	【月次勉強会】未定	埼玉県会事務所		未定	2
6月8日	【月次勉強会】未定	埼玉県会事務所		未定	2
7月14日	【総会】 【研修会】未定	未定		— 未定	2 2

広報

平山 孔嗣



あけましておめでとうございます。

今年度より広報を担当させていただきます。

前任者が開拓したこの会報も執筆者他協力のいただいた皆様に支えられ第4号を向かえることができました。心より感謝申し上げます。また、会長より与えられたもうひとつのテーマであります県会ホームページも試行ながら立ち上げることができました。会報、ホームページ共に会員の皆様への情報提供の場として、また、コミュニケーションの場としての役割を徐々に高めてゆきたいと思っております。県会は、会員が自らの主体性を発揮できる最高の場です。会員の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

親睦

内田 俊二



新春のお慶びを申し上げます。

昨年の定期総会において、宮原新会長の下に業務担当から親睦担当の副会長に担当替となりました。

さて、昨年の親睦ゴルフ会、懇親会の実施状況は下記のとおりでありました。

ゴルフ会

4月6日(木)	小川カントリークラブ	参加者17名
7月12日(木)	小川カントリークラブ	参加者14名
8月28日(月)	妙義カントリークラブ	参加者11名 (前泊懇親会付)
11月9日(木)	浦和ゴルフクラブ	参加者8名 (友好九士業協議会親睦)
12月23日(土)	妙義カントリークラブ	参加者8名 (前泊懇親会付)

懇親会

2月3日(金)	新事務所披露懇親会	参加者48名 (パレスホテル大宮)
7月8日(土)	総会懇親会	参加者44名 (大宮サンパレス)
11月11日(土)	川越巡回研修会懇親会	参加者16名 (酒蔵はっかい川越)
12月16日(土)	恒例忘年懇親会	参加者40名 (パレスホテル大宮)

なお、本年も県会としては、「会員の皆様方の交流親睦を更に深める為」ゴルフ会、懇親会を継続すると共に、皆様からのご意見を頂きながら、健康的な楽しい企画を立ててゆきたいと思っております。つきましては、別紙、アンケートを同封いたしましたので、是非皆様のご意見をお寄せいただけますよう、よろしくお願いいたします。



私の楽しみ

西川 一郎

個人で、社寺や仏像の拝観を楽しんでいたときに、知人より「サークルで仏像研究の講座があるが、出席してみないか。」と誘われました。これが切っ掛けで仏教美術のグループに入り、もう20年ほどになるかと思えます。

趣味とはいえ、グループでの研修や見学は難しく判らない事だらけでしたが、大分勉強になりました。グループの友達は、年配者が多く気も合うことから相変わらず研修見学を続けています。

ご存知と思いますが、仏像が作られたのはお釈迦様が亡くなられてから数百年も経ってからの事です。仏像の最初はガンダーラといわれていますが、仏像が造られると瞬く間に各地に広がって行きました。これは、仏像を通して仏を偲ぶと謂う事から、仏像を拝む事が仏を拝むことに通じると考えられていたためです。

この仏像の素材ですが、ガンダーラの仏像は石で、日本の仏像は圧倒的に木材が多く使われています。これは、日本が木材に恵まれているからですが、この木材という素材が、多くの繊細で美しい仏像を残したといえます。この木造物は、更に一本造りと寄木造りとに分けられ又内割り（内割りの様式にも色々な技法があります。）という技法もあります。勿論木造物のほか、金属造の金剛仏、漆

から造られた脱活乾漆造、木心乾漆造と色々な素材の仏像も残っています。

私は拝観をお願いした時、必ず仏像の前に座り手を合わせて深く一礼します。仏像を拝観するときには、礼を忘れないよう気をつけています。拝礼して私達が顔を上げた時、まず仏像の目と合います。

この目が時代によって作風に変化があります。目の形ですが、当初の飛鳥時代には杏仁形といわれる梅干の種を横から見た様な形でしたが、時代とともに上下瞼とも幾らか下がりぎみの形に変わって来ています（その間の各時代の微妙な変化はとても文字では表現出来ません）。また、眼についても木調の像や水晶の玉の入った玉眼像は鎌倉時代からの作といえます。

目と同様に、口耳等も時代と共に繊細かつ写実的に変わって来ています。その他顔全体の輪郭、顔から頬への膨らみ、肩から胸への丸味や厚みの格好とそれぞれ時代と共に変化してきています。体に纏う衣や瓔珞臂釧等の装飾、持物も年代や作者（仏師）の造作技術等によって違ってきます。

密教系仏像になりますと手の数が6本8本もある菩薩仏、頭上に10面の顔を持つ十一面観音、千の手を持つ千手観音といずれも異様な姿をしています。しかし、これらは信仰の中から生まれたため、決して無気味とは感じない、堂々とした、そして親しみや慈悲の表情をもった仏像です。

この様な変化を見較べ、その時代の背景を感じる楽しさを味わっています。これからも新しい発見と遠き時代に想いを馳せ歩き回っていきます。



仕事は 美と健康から

河合あゆみ

皆様におかれましては、お仕事等でご多忙な日々を送られている事と思われまます。そんな皆様のリフレッシュ方法は何でしょうか？ゴルフ等のスポーツや趣味ですか？美味しいお酒と食事ですか？

私のリフレッシュ方法はズバリ「癒しの旅」です。「癒しの旅」と言っても、何日も前から予定を組んで宿を手配し、旅支度を整えて電車に揺られて数時間・・・と言った類ではありません。思い立ったらそのまま直行できるプチ旅行、それを可能にするのが我らが埼玉県の西川口にある「天然温泉 ゆの郷 Spa Nusa Dua (スパ ヌサ ドゥア)」です。ここは以前は所謂「健康ランド」でしたが、1,264mの地下から天然温泉が湧き出た事を契機にリニューアルを行い、今では整体・マッサージやエステも完備したアジアリゾート風になっており、女性一人でも気軽に立ち寄ることが出来ます。

さて、フロントでロッカーキーと館内ウェア・バスタオルを受取り、いざ出陣。癒しの旅の始まりです。まずは、デトックス効果があると話題のホットヨガに挑戦。ホットヨガは、高い温度と湿度の中で行うため、激しい動きではないのにレッスン中に流れる汗の量は驚くほどです。

ホットヨガで汗を流して心身ともにすっきりすると、次は浴場へ直行です。

浴場は化石深層風呂、漢方薬湯風呂、古代檜風呂、寝湯、サウナ等があります。温泉は、

入ると肌がツルツルする黒湯の重曹泉で微かに塩辛さも感じられますが、透明感があり、まるでアメリカンコーヒーの海で泳いでいる気分とでも申しましょうか、爽快の一語に尽きます。また、古代檜風呂は森林浴と同じ保養作用があり、温泉に浸かりながら森林浴も楽しめて一石二鳥です。さらに女性浴場には美白の湯があり、月に2回、色とりどりの薔薇が湯船を埋め尽くし、気分はまさにクレオパトラ。ゴージャスな気分を味わえます。

温泉で十分肌を温めると、蓬蒸しと垢すりを体験します。特に疲れている場合は足ツボマッサージも追加すると、心身ともに解れます。

美しく一皮剥けると、小腹がすいてきました。ゆの郷は和洋中と何でも揃っており、手首に巻いたロッカーキーを見せるとチェックアウト時の精算になるので、お金を携帯する必要がなく便利です。また、特筆すべきなのは、館内では皆様、素足に素顔のまま同じ館内ウェアを纏っている事です。オートレース帰りのお父さんも、西川口の夜を彩るお姉さまも、社長さんも皆ごっちゃ混ぜになって食事やお酒を楽しんでおり、貧富の差どころか老若男女の区別もつかなくなります。それが、ゆの郷の良い所でまさに裸で本音の世界です。

食欲を満たすと始発まで睡眠です。仮眠所もあるのですが私はヒーリングドームと呼ばれる体温に近いサウナ室でマイナスイオンを一杯に浴びながら仮眠します。仮眠後は旅の締めくくりに再度浴場へ。最後の一垢まで落とします。

この様に朝まで一通り味わいつくし、心身ともに美しく(?)健康になって仕事場に向かうのです。これは主人が出張で不在の夜の私のささやかな楽しみとなっております。

仕事は美と健康から一。皆様も一度お試しください。



紹介(埼玉県会)

土屋文実男

私が、埼玉県会の推薦を受けて埼玉県監査事務局の仕事に携わったのは、平成14年7月から平成17年7月まで4年間におよび毎年6月から7月でした。平成14年は地方自治体の包括外部監査や公益法人における外部監査の導入が本格化して間もない時期であったと思います。

監査事務局がおこなう監査は様々ありますが、監査事務局の職員である監査員が地方自治法にもとづき監査をおこない、その結果を監査事務局内で検討し、検討結果によって再び監査委員が監査をおこなう流れになっています。監査事務局には、公認会計士の大先輩である山本清次先生が監査委員を勤められており、平成16年3月からは坂本隆信先生が監査委員として勤められております。

始めに私が依頼されたのは、公営企業会計における決算監査（地方自治法第243条の2第3項）のお手伝いです。公営企業会計（病院事業、電気事業、工業用水事業、水道用水供給事業、地域整備事業）は、「地方公営企業法」等により我々公認会計士に馴染みのある企業会計に類似した会計を採用しています。類似しているものの全く同一ではないのですから、「地方自治小六法」と「地方公営企業関係法令集」やその他参考書籍を購入して勉強する必要がありました。監査法人の勤務当時は株式公開部門に所属しており、独立開業後も公会計には全く無縁でしたので泥縄の感が否めませんでした。事前に監査対象書類

を頂いていましたので勉強する時間的余裕をもって実際の監査の現場に臨むことが出来ました。

また、公営企業会計の経営分析の依頼を受けました。一般的な経営分析手法に基づくのみでは、赤字体質の事業について否定的な結論しか導き出せませんので、公共の福祉という観点を考慮して、公益事業独自の分析方法を一部用い、さらに埼玉県と同規模程度の他の地方自治体の事業との比較をおこないレポートを作成しました。

平成15年度以降は、財政的援助団体等の監査（地方自治法第199条第7項）のお手伝いでした。該当する財団、公社、第3セクターについて毎年5団体ほど監査をおこないました。各々の団体により実施事業が異なり主務官庁により会計基準等が定められている団体が多く、監査以前の前提条件である実施事業や会計基準を理解するのに苦労しました。

2、3人の監査員に同行して行なう往査は1日か規模の大きい団体で2日でしたので、事前に頂いた書類を検討しあらかじめ問題等を洗い出しておく必要がありました。監査の結果は簡単なレポートにまとめ監査事務局に提出することで依頼された仕事は終了です。簡単なレポートではありますが、レポートを読む監査員は会計や監査の専門家ではありませんから公認会計士には常識的な事柄についても省略することなく、必要に応じて根拠法令や会計基準等を記載し、なるべく理解しやすい文章で記載するように心がけました。

この仕事を通じて考えさせられたのは、公益性と経営効率のバランスの難しさです。非常に貴重な経験が出来たと思っています。この経験を生かして現在、東京会において公益法人委員会の担当幹事を勤めさせて頂いております。

日本公認会計士協会埼玉県会 平成18年度 役員名簿

(H18.11.30現在)

役員名		氏名
会長		夫二 嗣純 彰茂 愛彦 世弘 志正 毅男 浩利 郎み 雄博 生司 夫光 男夫 治男 次夫 也良 信郎 豊男 郎助
副会長	総務 陸報務 修	敏伸 俊孔 正和 正益 明仁 勝文 喜武 寛あ 秀英 憲義 広一 春廣 和清 邦俊 一隆 雄 亀一 十
監事		原井 田山川 山井 山鼻 谷合 間野 山屋 井庭 川合 水口 田田 木田 原野 下本 間川 島本 木山 野川 山
幹事	研究 広業 研	久野 山屋 井庭 川合 水口 田田 木田 原野 下本 間川 島本 木山 野川 山
常任幹事	修報務 修陸務 務	久野 山屋 井庭 川合 水口 田田 木田 原野 下本 間川 島本 木山 野川 山
顧問		久野 山屋 井庭 川合 水口 田田 木田 原野 下本 間川 島本 木山 野川 山
相談役		久野 山屋 井庭 川合 水口 田田 木田 原野 下本 間川 島本 木山 野川 山



埼玉県会地域別会員名簿 (平成18年10月1日現在)

地 区	正 会 員							準 会 員	会 員 数			
	正	準	計	正	準	計						
南 部 地 区	北本	池田 政治	勝田 重道	木村 繁男	松村 榮				4	0	4	
	桶川	松岡 樹生	松田 正典	三間 邦夫(顧)					3	0	3	
	伊奈	町田 賢朗							1	0	1	
	上尾	井上 克典 鈴木 稔巳 三上 幹夫	瀬川 修二 宮田 則之 英生(幹)	小宮山 司 関口 長吉 若松 謙維	佐藤 孝 田中 更二	齋藤 敏雄 橋村 義憲			13	0	13	
	さいたま市	大宮区	網野 誉 伊藤 英明 小河原 崇生 鎌田 洋彦 小島 洋太郎 鈴木 舞 寺山 昌文 信澤 康一 日原 智彦 矢部 謙二	荒井 伸夫(副) 井上 広明 奥村 英昭 木村 邦彦 小宮山 榮 関端 京夫 中島 茂喜 萩原 篤 福田 厚 吉田 守一	飯塚 正貴 入江 陽子 長田 慶洋 工藤 道弘 後藤 德彌 高橋 正勝 中森 弥生子 浜田 陽介 松本 榮一 山沢 邦明	石井 隆 内田 和男 小野田 元 久保壯一郎 佐渡 一雄 田島 一郎 西平 哲 原口 博(幹) 松本 茂	石川 岩雄 浦野 雄二 加藤 由久 栗原 由武 白濱 拓 筑紫 徹 野口 惠美子 原田 泰人 森田 亨	安達 岳夫 阿部 大亮 荒井 克浩 枝 大樹 木島 紹史 布施 知芳 増田 亜希子 鈴木 康雄 高井 健介 中塩 修司 洞口 卓雄	48	11	59	
		北区	飯倉 哲成 福岡 幸一	石田 康洋	菅野 豊	崎谷 寿	中島 信	宇賀 神貞夫 西川 英樹	6	2	8	
		西区	内山 義雄	深谷 豊					2	0	2	
		見沼区	大金 忠宏 松原 令枝	奥原 主一 松本 直子	加沢 義晴	島田 紘一郎	深井 忠		7	0	7	
		中央区	猪俣 秀毅 小宮 一浩 古屋 卓己	垣沼 一郎 坂本 隆信(顧) 村田 憲司(幹)	河合 明弘(常) 高橋 昌男	河合 あゆみ(幹) 原田 裕子	小林 正和 福家 弘行	新江 孝	12	1	13	
		浦和区	石田 惠美 神本 昇 鈴木 義夫(顧) 長島 良亮 宮原 敏夫(会)	内田 俊二(副) 川邊 茂 高柳 健一 中村 友理香 村田 英孝	大久保 明 齋藤 史郎 竹井 光美 中村 圭作 矢野 豪士	小淵 直子 櫻井 茂(監) 土屋 文実男(常) 裕平 智 横山 一朗	賀川 寛一郎(幹) 佐竹 正幸 富田 吉昭 宮城 由美子	阿久津 聖 小林 啓孝 島村 龍雄 塚原 龍雄 松縄 豊	24	5	29	
		桜区	関口 俊雄	土橋 正和				神田 隆博	2	1	3	
		緑区	石井 満 木暮 友喜	海野 亀男(相) 中川 幹也	大石 勝 吉田 俊行	北原 英治 渡邊 喜夫	桐岡 弘幸	山口 和徳	9	1	10	
		南区	相場 俊夫 佐藤 賢治 長谷川 孝至	岩淵 均 佐分 紀夫 前田 清澄	奥角 仁 龍田 有理 増田 一	小柴 正光 田村 道明	込田 彊 都築 秀美	伊東 知文 田中 建二 番家 薫	13	3	16	
		岩槻区	安齋 亮三 塩原 春夫(顧)	相原 甫二 塩原 史子	秋葉 かおり 田山 毅(常)	岩波 一泰	塩原 修蔵		8	0	8	
	(さいたま市 計)									152	24	176
	蕨	雨堤 正博 平山 孔嗣(副)	神津 重人	小林 順一	多田 広光(顧)	野田 光二	向田 隆義	6	1	7		
	川口	青木 忠幸 小林 環 齋藤 潤一郎 高野 千代治 中込 眞次 藤野 廣治(顧) 矢島 賢一	磯貝 光一 小斎 彰(副) 齋藤 一将 高橋 守 中村 明弘 増田 善久 米田 正巳	植野 和宏 佐々木 武 櫻井 秀秋 丹沢 好治 西浦 正和 眞木 和久 森住 恵二	勝長 祥 佐瀬 俊道 清水 秀雄(幹) 近田 菜生子 野島 一男 宮一 富士男 吉村 強	鎌田 融彦 佐藤 公剛 中桐 則昭 日原 龍 山野 井俊明 渡部 行光	小山 敦 下條 光裕 信夫 修	35	3	38		
	鳩ヶ谷	根本 秀人						1	0	1		
	草加	秋濱 政志 飯塚 由明 堀野 暁	浅野 典久 長内 温子 三根 健一	伊藤 忠士 関根 敬子	猪股 世紀 谷 篤志	猪股 宏之 中島 英男	糸田川 周 内倉 滋 西川 太一 南 伸一	12	4	16		
戸田	大村 雅司 高橋 謙一	小川 千恵子	熊木 雄太郎(顧)	杉本 清文	杉本 喜代美	遠藤 英樹	6	1	7			
和光	石塚 兼也 深澤 仁	齊藤 一也 谷内 守	柴崎 智延	堤 康之	橋本 三喜男		7	0	7			
朝霞	荒井 薫 新里 智弘 宮野 尾幸裕	稲山 十四助(相) 根津 光弘 谷具 泉夫	加屋 野 究 野田 健	高橋 秀和 長谷川 臣介	高柳 尚視 福田 武彦		12	0	12			
新座	今村 正宗	岡本 芳郎	春日 敏彦			村岡 欣典 山北 文也	3	2	5			
志木	赤尾 敬一郎 渋谷 大	有賀 美典 関本 享	飯島 錠二 三木 正志	岩間 晃一	上原 由夫		8	1	9			
南部地区 合計									242	36	278	

※地域区分は、事務所所在地による

地 区	正 会 員										準 会 員		会 員 数		
											正	準	計		
西 部 地 区	東松山	鳥海 隆雄	堀 一男(顧)	真下 和男(顧)	山崎 剛							4	0	4	
	坂戸	川村 義則	小池 一男	柳澤 享							3	0	3		
	川越	安藤 隆允 大澤三千雄 鈴木 悟 西川 孝博	阿部 軍喜 岡田 章 関口 智和 西川 正純(副)	猪鼻 正彦(常) 荻野 博司 田中 宏 堀江 英夫	猪鼻 嘉行 佐久間仁志(常) 長岡 勝美	石山 豊(相) 佐野 勝正(常) 西川 一郎(相)	倉持 四郎 島田 邦洋		18	2	20				
	富士見	河野上浩司	森下 賢二						福田 政彦	2	1	3			
	ふじみ野	平林 素子							1	0	1				
	狭山	栗原 洋一 高柳 清	坂野 好邦 寺田 芳雄	茂中 美喜夫 中村 英明	清水 善規 久富 繁雄	鈴木 康弘 宮川 恵一			10	0	10				
	所沢	岩崎 力也 久朗津英夫 田中 勝 貫井 正之 森 巨樹	上本 壽雄 齊藤 武司 高尾 賢 早坂 昇一 山口 雅弘	柏谷 道正 酒井 敏彦 橘 宣洋 舟越 進 山中 幸雄	川崎 勝之 関 博之 近澤 優司 町田 和宏 横井 貴	北原 義仁 大東 幸司 鶴藤 洋 宮城 秀敏 米倉 礼二	菊池 真理 小林 一夫 鈴木 春陽 吉田 正之 渡辺 智信		25	5	30				
	飯能	嶋田 昇	吉島 一良(顧)	吉島 力良			森 和夫		3	1	4				
	入間	関谷伊和男	田中 清一	中村 透	牧 哲郎			赤池 直也	4	1	5				
	毛呂山						新井 晶美		0	1	1				
	日高						越智 一英		0	1	1				
	鶴ヶ島	海老澤敏夫	橋爪 和夫							2	0	2			
	滑川	佐藤 正恒							1	0	1				
三芳						小林 大輔		0	1	1					
西部地区 合計											73	13	86		
北 部 地 区	熊谷	石井 喜浩(幹) 木本 英男 明光監査法人	大谷 宏一 田代 充雄	大谷 益世(常) 能見 孟俊	荻野 八郎 蛭川 俊也(顧)	金井 千尋 本塚雄一郎			11	0	11				
	深谷	武田 哲	塚原 昭二						2	0	2				
	鴻巣	大塚 和恵	清水 正	中澤 隆			元氏 元	3	1	4					
	吉見	木村 毅						1	0	1					
	秩父	小泉 真人	肥沼 秀司						2	0	2				
	岡部	小林喜一郎						1	0	1					
	江南						0	0	1						
北部地区 合計											20	1	21		
東 部 地 区	羽生	松本 猛						1	0	1					
	加須	高野 勝良	原 稔						2	0	2				
	久喜	向後 真徳	永田 勲						2	0	2				
	蓮田	飯野 浩一	飯野 雪男	小川 進	佐藤 直司			4	0	4					
	春日部	磯山 昭一 田中 彰治	尾池 辰義 廣瀬 哲也	尾花 淳 廣瀬 令子	神足 勝彦 矢島 和彦	重岡 裕介 山本 清次(顧)	稲田 淳 酒井 雄一	10	2	12					
	越谷	飯塚 岩男 田久保武志 長谷川俊晴 壬生 米秋	薄井 賢治 高野 悦雄 藤原 拓也 水嶋 正樹	大沢日出夫 為ヶ谷喜一郎 星山 厚興 森原 哲也	大鷲 雅一 中村 甫尚 堀 友嗣 渡井富志雄	清田 亮 西村 光弘 丸山 陽司	今市 哲則 本田 幸一 山本 佳史	19	3	22					
	三郷	岡庭 武利(幹)	今西 崇雄	富樫 信子	山下 勝矢			4	0	4					
	八潮	久保 勝裕	福野 幸央						2	0	2				
	吉川	北林 啓司	野口 千春	宮村 和哉			3	0	3						
	杉戸	松村 隆						1	0	1					
	白岡	岡山 和愛(監)	坂卷 仁志	山口 高志			岡安 俊英	3	1	4					
	幸手	菅谷 君一						1	0	1					
	宮代	中村 仁						1	0	1					
栗橋	山中 裕之						1	0	1						
庄和						池田 博行	0	1	1						
東部地区 合計											54	7	61		
埼玉県会合計 (公 開)											389	57	446		
〃 (非公開)											1	0	1		
埼玉県会総合計											390	57	447		
在住地区会員	石井 誠 川口 宗夫 神保 正人 船山 卓三	磯部 正昭 楠山 正典 田中 伴一 本間 利雄	遠藤 忠宏 久保 直生 對島 和也 宮島 博和	太田 啓之 黒澤 誠一 中村 元彦 余語 直樹	岡田 清 河野 幸久 野口 和弘 和田 正夫	奥山 弘幸 小島 昇 野崎 一彦	神山 敏夫 佐々木直彦 深谷 豊 (合計26名)								

*凡例 = (会) : 会長 (副) : 副会長 (常) : 常任幹事 (幹) : 幹事 (監) : 監事 (顧) : 顧問 (相) : 相談役

編集後記

初めての会報の編集何とか終わりました。

文章を書くのが苦手な私を、スタッフが叱咤激励して支えてくれました。これからも楽しい会報を目指したいと思います。すでに平成19年も僅か364日を残すのみとなりました。これから来年の原稿や企画を募集いたします。

早速に来年の表紙は勝手ながら川越の写真といたします。これから撮りだめしておいて下さい。県会会員の皆様、こぞってご協力のほどお願い申し上げます。次の主役はあなたです！（孔）

11月11日 川越研修会



日本公認会計士協会 埼玉県会
〒330-8669
さいたま市大宮区桜木町1-7-5
ソニックシティビル8F
TEL：048-644-9050 FAX：048-644-9054
E-Mail：kenkai@jicpa-saitama.jp
URL：http://www.jicpa-saitama.jp

埼玉県会 CPAニュース
発行人：埼玉県会会長 宮原敏夫
編集人：副会長広報担当 平山孔嗣
印刷所：株式会社 正文社
写真提供：賀川寛一郎（表紙）